



# 兵協連だより

HYOGO CONSUMERS' CO-OPERATIVE UNION

2019 **3**



2月12日(火)コープこうべ協同学苑(兵庫県三木市)にて、兵庫JCC「第3回虹の仲間づくりカレッジ」を開催し、協同組合の職員ら24人が参加しました。「生産」「環境」「地域コミュニティ」が抱える課題を、「協同組合としていかに解決するか」をテーマに企画実践した報告会を行いました。(関連記事P4・5)



兵庫県立大学生協同組合  
専務理事

## 末松 泰信

(すえまつ・やすのぶ)

# 創造ということ

兵庫県立大学生協は組合員数約6600人、大学・研究所・附属中高も含めて、県内全域にて、書籍・購買・食堂などの事業を行っています。昨年度は、神戸商科キャンパス食堂ホールの改修工事により1.6倍の増席をはかり混雑緩和に貢献でき、今年度は、学部再編によって学内に留学生と日本人共用の学生寮が建設されることへの対応を求められています。また、学生の就職・キャリア支援の一環として、年に30回を超える学内での民間企業・行政・病院と連携した就職ガイダンスや説明会、公務員試験・簿記資格・TOEICなどの語学能力向上など、総合的な支援を大学と連携して行っています。

私事ではありますが、12年間勤めた県立大学を離れ、昨年末12年ぶりに着任したのですが、学内の校舎は立派に改修され、IC学生証を使った電子サービスやマネーなどのインフラが整い、熱心な学生を見る度、ずいぶん進化した大学に変化したなあと感じているところです。

想点を書くにあたって、過去の大学生協の記事を眺めていると、「生協があつて良かったと思われるように」「学生のニーズに合わせたサービスの向上」「変化する大学に貢献できるよう」「少子化！生き残りかけて」というフレーズが時代とともに刻まれていて、

県立大学を離れていた2016年に関西北陸事業連合（北陸3県、京都・滋賀・奈良・大阪・和歌山・兵庫と2府7県）昨年、全国的に合併し大学生協事業連合に）の立場として、規模のメリットを追求する視点で、時代に合わせて会員生協に経済的な貢献を果たす役割だという意味合いで執筆させていただきました。

さて、会員生協に戻りあらためて思うことは、もう四半世紀前になります。私が大学生協で働くようになって、とある大学生協の先輩が、「福利（厚生）創造」という言葉を都度聞かされていたことを思い出します。当時は「なんのこっちゃ」さっぱり意味がわからなかったのですが、今になって、今まで行ってきた既存の事業やサービスだけではなく、組合員の一番近いところでニーズに沿ったサービスを即時提供することも超えて、生協人として今まで培った知識とか人的ネットワークを最大限に活用したアイデアを提案し提供すること、冒頭に記した「学生の就職・キャリア支援」はまさにその一例だと感じています。今風の経済用語に置き換えると「価値創造」となりましようか、組合員一人一人、大学・中高、それを取り巻く地域が高め合っていく、産まれも育ちも兵庫県民である私自身のテーマとして努めてまいります。

## CONTENTS

2. 想点
3. 第5回理事会報告／  
2018年度「兵協連だより」通信員・広報担当者 研修会
4. 兵庫 JCC 第3回虹の仲間づくりカレッジ報告
6. 協同組合のかけ橋

7. 兵庫県のページ／ヨッシーの窓
8. 「ミュージカル はだしのゲン」のご案内／  
県連行事予定／編集後記

## 2018年度 兵庫県生協連 第5回理事会報告

【開催日時】 2019年2月4日(月) 14:00~16:00

【開催会場】 兵庫県民会館 12階 「1201」

【出席者】 木田会長理事、高橋副会長理事、田中専務理事、新保理事、岡本理事、大沼理事、藤井理事、松永理事、福島理事、鈴木理事、西谷理事、金丸監事、岡村監事

### 協議事項

1. 2018年度決算見通しと2019年度予算計画案について
2. 2018年度活動報告及び2019年度活動計画案について

### 報告事項

1. 2019年度第69回通常総会に向けての手順スケジュール案
2. 分野別生協（出席理事、監事）からの状況報告について
3. 前回理事会～2月上旬までの兵協連行事、活動報告について
4. 2019年2月～の「兵協連主要行事スケジュール」について

## 2018年度『兵協連だより』 通信員・広報担当者 研修会

テーマ

- ・『広報で使える、やさしいソーシャルメディア活用術』
- ・『みんなにやさしいデザイン講座』

【日時】 3月27日(水) 14:00~16:00

【場所】 兵庫県民会館 10階 「1001」

【講師】 株式会社甲南堂印刷 福田 哲平氏（企画制作本部 WEB制作マネージャー）  
株式会社甲南堂印刷 高橋 智明氏（企画制作本部 第一制作マネージャー）

【研修内容】

### 『広報で使える、やさしいソーシャルメディア活用術』

スマートフォンの普及とともに成長してきたSNS、手軽に情報を発信できる一方で、炎上したらどうしよう……と二の足を踏んでいませんか？  
研修では、SNSの特徴や利用する時のポイントなどをお伝えします。

### 『みんなにやさしいデザイン講座』

「より多くの方に使いやすいものを」というユニバーサルデザインの考え方とグラフィックデザインにおける実践テクニックをご紹介します。



【参加対象】 会員生協『兵協連だより』通信員および広報担当者

【参加費】 無料

お申込み・お問い合わせ ▶ 兵庫県生活協同組合連合会（担当：村上）TEL078-391-8634



# 兵庫JCC 第3回 虹の仲間づくりカレッジ報告

**日時** 2019年2月12日(火)  
10:00~17:15

**場所** 生活協同組合コープこうべ  
協同学苑 研修棟

どの班も、課題をしっかりと見据え、実践に向けて事前に関係部署と調整を進めており、地に足の着いたレベルの高い実践報告会となりました。参加者からも、「協同組合として何ができるかをこれからの業務で何かプラスにできることがないかを意識して業務にあたります」等、前向きな感想が寄せられ、自信と手ごたえを感じたカレッジになりました。

2月12日(火)、今年度の最終回となる第3回目は、その実践報告会です。午前中は、10月~2月に各班ごとに実践した内容をパワーポイント等で報告資料を作成する等、発表準備をすすめました。午後からは、各班の実践発表&相互評価を行いました。

中堅・若手職員を対象に協同組合間の交流と「協同組合人」としての連帯感醸成をはかり、SDGsを含む社会的課題解決に向けた企画と実践を行う「虹の仲間づくりカレッジ」。今年度は、26人のカレッジ生が5班に分かれ、各班ごとに取り組むテーマを定め、企画・実践に取り組んできました。

## ..... 各班の実践の様子 .....

### 1班

#### 「協同組合合同のインターンシップ」

(於:コープこうべ住吉事務所)

人材不足とミスマッチ解消をめざして生協、農協、漁協、森林組合合同のインターンシップを実施



各協同組合の紹介



SDG'sカードゲームで学ぶ



インターン学生による発表

### 2班

#### 「持続可能な生産と消費(住み続けられるまちづくりを)」

(於:コープこうべエコファーム)

食品廃棄ロス削減とごみ問題の解消をめざし、協同組合版エコファームを目指す



肥料づくり



播種(ほうれん草)



収穫



### 3班

## 「海の豊かさを伝えよう」

(於:JAパスカルさんだ)

地域の文化を知り学ぶことで、地域の活性化、新たなつながりを発見する。地域以外では、利用されていない魚の食べ方を含めて、紹介することで魚食文化を守り広げる。



試食準備



「干しカレイ」の販売



試食風景

### 4班

## 「次世代に向けた見える化(協同組合を知ってもらうために)」

(於:賀川記念館)

賀川記念館を活用して若年の協同組合職員に一般組合員も交え協同組合の役割、魅力をもっと知ってもらうため、4つの協同組合によるミニイベントを開催



賀川記念館で学習



イベント風景



試食交流会

### 5班

## 「世代間コミュニケーションの活性化による孤立防止の促進」

コープこうべの移動店舗営業時間に合わせ、停留所の横で自治会や地域の世話役も巻き込みながら各協同組合が持つ学習テーマを活用したセミナーを開催



移動店舗



商品紹介



セミナー開催

# 協同組合のかけ橋

JF

## (一社) 淡路水交會

### 第43回 淡路のり品評会 開催!!

(一社) 淡路水交會 (東根 壽会長) 主催による淡路のり品評会が、2月1日(金) 淡路水産センター(洲本市)で行われ、報道陣が集まるなか優秀品24点が選ばれました。43回目となるこの会は、生産者の意識の向上と生産技術の研鑽を図る目的で毎年開催されており、12月上旬から1月上旬までに淡路島内で生産された乾のりについて審査を行うものです。

系統団体・県洲本農林水産振興事務所の関係者ら10名の審査員が、応募のあった72点の中から第一次審査で選ばれた50点を対象に、色・艶・風格・味などを基準に審査を行いました。今年は、良い出来栄えのノリが出揃ったため、会場では審査員らが頭を悩ませていました。

審査の結果、最上位の兵庫県知事賞は大草水産(JF森)が受賞しました。

なお、今回も出品されたノリはすべて味付け加工して、福祉施設等に無料配布されます。



どのノリも品質は良く、難しい審査となりました。

JA

## JA 兵庫西

### ブランド米「にっしいライス輝」の生産振興

JA 兵庫西は農業者の所得増大のため、水稲農家と畜産農家の連携による、牛ふん堆肥を使用した環境に優しく安全・安心なブランド米「にっしいライス輝」の生産拡大と販売強化に取り組んでいます。

このブランド米は、畜産農家の牛ふん堆肥を10畝当たり約2ト施用して土づくりを行い、化学肥料や化学合成農薬の使用を慣行の30%以上削減する「環境創造型農業」を実施しています。県が定める「ひょうご推奨ブランド」の認証を取得し、地域の自然条件に適した「きぬむすめ」「コシヒカリ」「ヒノヒカリ」「ぴかまる」の4品種を栽培。29年産の5.4畝から、30年産は20.9畝へと拡大しました。

同JAでは「にっしいライス輝」の栽培講習会を開き、生産者に営農指導を行い、生産された米はJAが全量買い取り、同JAの直売所「旬彩蔵」や「野菜市」で販売しています。価格は「コシヒカリ」が5kg2,150円と、一般栽培の米に比べて高くても、売れ行きは好調です。

また、JAでは認知度向上に向けて、「にっしいライス輝」のPRを兼ねた料理コンテストを開きました。テーマは「にっしいライス輝」に合うおしゃれなお飯のお供。一般公募で集まった66作品の中から、「鶏そぼろとひじきのしっとりふりかけ」が最優秀に選ばれました。

さらに、JAは「旬彩蔵」で試食イベントを開くなど、積極的にPRを行い、31年産は25畝の栽培を計画しています。



31年産はさらなる拡大を目指しています。





最近の消費生活相談事例

# モバイルバッテリーによる事故が近年急増!

事例

自宅の居間でモバイルバッテリーを充電していたところ、約2時間経過後に突然破裂した。

【アドバイス】

スマートフォンやゲーム機器などの外付け電源として利用されているモバイルバッテリーですが、近年事故が急増しています。

平成25年から29年の5年間で150件の事故が発生し、その約7割が火災を伴う事故でした。

このような事故を避けるためにも、購入時や使用时には、次のような点に注意するようにしましょう。

●購入時にはPSEマークの確認を

モバイルバッテリーによる事故が多発したため、平成31年2月1日以降、電気用品安全法による耐久性や安全性の基準に適合したことを示すPSEマーク（右図）が表示された商品でないと、販売ができなくなりました。

PSEマークを確認するとともに、製造事業者、輸入事業者や販売元などの連絡先が確かなものを購入しましょう。

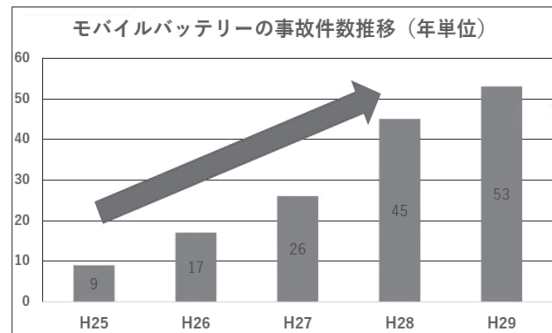
●事故を防ぐための使用時の注意点

外部からの強い衝撃や振動により、モバイルバッテリー内部のリチウムイオン電池や配線が損傷し、破裂や発火につながるおそれがありますので、ご注意ください。また、「充電できなくなった」、「異常に熱くなった」、「膨張した」等の場合は、すぐに使用を中止してください。

リコール情報の有無も消費者庁や事業者のホームページ等で確認するようにしましょう。

消費者庁リコール情報サイト▶ <http://www.recall.go.jp/>

(兵庫県立消費生活総合センター)



出典：NITE（独立行政法人製品評価技術基盤機構）



図：PSEマーク

適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネット

## ヨッシーの窓

みなさま、こんにちは。適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネットの吉江直記です。

3月は年度末ということもあってか、何かと忙しい日が続きますね。学生の頃の3月は、高校や大学の入試があったり、それが終わると卒業式だったり、大切な行事がたくさんありました。働き始めてからは3月に特に行事もないのですが、なんとなく学生だった頃の3月の、少しそわそわした、さみしい気持ちが思い出されます。

さて、ひょうご消費者ネットでは、1月と2月に計2回、会員向けに上田孝治弁護士によるゼミ（勉強会）を開講しました。ゼミですので少人数で、先生と対話しながら学べるというわけです。私も1月のゼミに参加しました。1回目のゼミテーマは投資トラブルでした。投資に関する法律の基礎知識や実際の投資商品を例に問題点を考えてみる、といった内容で、とても、勉強になりました。勉強は一人でじっくり書籍を読むことも大切ですが、やはり、先生や他の方と話をしてみ、自分の理解が正しいのかを確認してみることが、とても、重要ななと感じました。来年度も、ゼミを開講できたらいいなと思っています。

(ひょうご消費者ネット 理事 司法書士 吉江直記)



ひょうご消費者ネット  
連絡先

〒650-0011 神戸市中央区下山手通五丁目7番11号兵庫県母子会館2階C  
TEL: 078-361-7201 E-mail: office@hyogo-c-net.com



# MOVE

原作-中沢啓治 脚本・作詞・演出-木島 恭 作曲-林はじめ Pカンパニー第26回公演 | 木山事務所メモリアルI  
音楽監督-高橋慶吉 ムーブメント-福島 梓 美術-石井みつる 衣装-新井喜一 ヘアメイク-柳 延人 照明-森脇清治 音響-勝見淳一  
ミュージカル 舞台監督-大山慎一 演出助手-大島健司 制作-松井伸子 企画原案-木山 潔 統括-林 次樹

## はだしのゲン

いまむら小穂  
有馬理恵  
加藤 穎  
衛藤 南  
難波真里  
中野亮輔  
岡田基哉  
吉田恵理子  
山田健太  
奥野雅俊  
立直花子  
前田昌明

麦のようにたくましく  
心に刻み 未来へ  
元気のゲン 再び

ZENROSAI HALL SPACE ZERO 全労済ホール/スペース・ゼロ30周年記念  
2019年 4月13日[土] 14:00開演 ピッコロシアター(兵庫県立尼崎青少年創造劇場)  
4月14日[日] 14:00開演 京都府立府民ホール“アルティ”

### 県連行事予定

- 3月7日(木) 第3回生活問題研究会 (県民会館 1102)
- 3月8日(金)~10日(日) 東日本被災地支援 (宮城県・福島県)
- 3月12日(火) 第3回医療生協部会 (県民会館 302)
- 3月13日(水) 兵庫JCC第4回幹事会 (県民会館 ばら)
- 3月16日(土) ひょうご消費者セミナー (県民会館 県民ホール)
- 3月19日(火) 第2回医療生協組織担当者会議 (県民会館 302)
- 3月20日(水) 第6回生協活動委員会 (県民会館 ばら)
- 3月22日(金) 労働安全衛生研修・学習会 (県民会館 901)
- 3月27日(水) 兵協連「兵協連だより」通信員・広報担当者研修 (県民会館 1201)

### 編集後記

2月12日(火) コープこうべ協同学苑にて第3回虹の仲間づくりカリッジが開催されました。今回は3回コースの最終回で各班が企画実践した報告会がありました。班の中には、農業新聞社から取材を受け表紙に掲載された班もありました。また、他の協同組合のメンバーとのコミュニケーションも非常に良く、本当に意味のある研修になりました。(村上)

